

教育目標	「学園は教える者と、教えられる者とは、相互の信頼によって生かされる精神的な共同体である。」という理念の下、知・徳・体を錬成し、調和ある人間像を確立する。						
経営方針	(1)「自律的な精神」、「思考力と創造的な知性と技量」、「自然愛や人間愛を大切にする豊かな情操」を培う。 (2)「日本人としての美徳を育て、実践的な社会性を養うとともに、国際化・情報化社会のフロントランナーとして、社会貢献できるフェアリーダーとしての資質を培う。						
本年度重点目標	Ⅰ 知育の推進 Ⅱ 徳育の充実 Ⅲ 健康な身体の育成 Ⅳ 豊かな生活の追及 Ⅴ 家庭地域との連携 Ⅵ 生徒募集 Ⅶ 教育施設設備の活用						
重点目標	評価項目	具体的な方策または項目を評価する具体的な指標	平成30年度の実施状況	職員評価	職員からのコメント 集計・まとめ 71部 10/12日	関係者評価 関係者からのコメント 集計・まとめ 11/2日	
I 知育の推進	授業の充実と 難関大学進学に 向け啓発	① 国・数・英等で発展学習実施 ② 国・数・英等で反復学習実施(復習・演習) ③ 補習補強の柔軟な実施 ④ 進路指導・講演等進路啓発指導を高校部職員、 専門家・OBにより実施 ⑤ 学力推移結果受取後の学級／学年指導 情報や目標の共有(中学部・高等部・教科担当) ⑥ 授業時数や計画、副教材の見直し	① 昨年度よりペースを調整し、後半に進むにつれて演習の内容を適宜調整した。 ② 現状を考慮し、計画的かつ重点的に反復に時間を割いた。昨年度と同傾向。 ③ 主に数学の指名補習を計画的に実施。横の連携に注意しながら効果的に取り組む ことができた。学習意識や環境を向上させ、底上げに貢献することができた。 ④ 7月と3月全学年対象に恒例の進路課長講演を実施。3月J3対象に卒業生講演 実施。大学進学の基本知識、心構え、合格状況等について啓発指導した。 ⑤ ベネッセテスト・英検・実力確認テストの結果について実施後情報を回覧共有し、 指導の改善に活かした。今年度は第二回ベネッセテスト未実施となった(猛省事項)。 ⑥ 行事計画を見直すことによって授業時数の改善を行った。	A 22.5% B 46.5% C 4.2% D 26.8%	・ 良くできている。 ・ 高校との連携をとっており、スムーズだと思う。 ・ 授業中の態度や取り組む姿勢など学びのルールやマナーを身に つけさせたい。 ・ 具体的方策は充分出されているが、実施と消化については 別問題となっている。 ・ 「クリティカル・シンキング」を実施し、言語技能の育成指導を始めた。 中学時より言語運用能力を高めることは重要で今後も継続したい。	A 0% B 87.5% C 0% D 12.5%	・ 小・中学校時代より意識を高め、難関大進学に向けて指導を 行いたい。 ・ 6年間を通して早期に目標を明確にして、学習することが 大事。 ・ ロールモデルをよく意識させてやりたい。 ・ 学習面での中高一貫の強みが明確にあるのか。 ・ 中学時代からきちんと楔を打ち込む指導を行いたい。 ・ 高校に繋がる指導になっている。
	外部模試等で 学力把握 在籍 J3 58名 J2 72名 J1 74名	① ベネッセ学力推移調査三科目受験と事後指導 J3 J2 J1 【偏差値58以上 15%、 15%、 10%】 【偏差値48以上 35%、 35%、 35%】 【偏差値42以上 30%、 30%、 35%】 ② 実力確認テスト(明誠高校入試)受験 J3:目標進路の学力水準達成70%以上 五科目 J2:基礎基本問題の習熟と確認 三科目 ③ 英検受験 年度末(2月)の時点 【J3 準2級 30% 3級 64%】 【J2 3級 41% 4級 51%】 【J1 4級 41% 5級 49%】 ④ 各試験結果受取後の一斉学級／学年指導 情報や目標の共有(中学部・高等部・教科担当)	① J3 10月② 未実施 4月① 64以上-2名 58以上-4名 47以上-7名 10月のデータがないため客観的に分析できないが、偏差値40前後 の底上げはある程度進んだと推測される。 J2 2月③ 64以上-2名 58以上-4名 47以上-25名 10月② 未実施 4月① 64以上-1名 58以上-6名 47以上-14名 全般に底上げがかなり進んだ。あえて言うならば国英が特に貢献した。 リーダー層の育成もさらに推進していきたい。 J1 2月③ 64以上-2名 58以上-9名 47以上-25名 10月② 未実施 4月① 64以上-1名 58以上-6名 47以上-39名 上位層の厚みが増した反面、中間層が大幅に減少した。 この点についてはよく分析した上改善策を講じる必要がある。 ② J3 指標に関しては、上位が少し薄かったが、およそ目標を達成した。また、個々の 進路目標に照らし合わせて、大体7割の生徒が目標を達成した。現状に安住 させず、向上心を啓発し、学習習慣を維持改善させてやりたい。 J2 指標に関しては、大幅によく目標を達成した。学習進度上のハンディキャップ は仕方ないが、ペースとなる設問に関してはきちんと解答しており、学習の 取り組みの成果が堅実に表れていた。 ③ J3(42名) 1月③ 2級-11% 準2級-11% 3級-61% 10月② 2級-9% 準2級-14% 3級-47% 6月① 2級-7% 準2級-9% 3級-45% 8割以上の生徒が3級以上を取得し、本校らしく前向きに最後まで取り組めた。 J2(61名) 1月③ 2級-1% 準2級-8% 3級-47% 4級-24% 5級-13% 10月② 2級-0% 準2級-6% 3級-39% 6月① 2級-0% 準2級-3% 3級-24% 底上げが順調に進み、3級以上の取得が大幅に増加した。 J1(76名) 2級-0% 準2級-5% 3級-14% 4級-32% 5級-42% 受験意欲や向上心が良好であり、次年度に向けての準備が出来てきた。	A 18.3% B 52.1% C 9.9% D 19.7%	・ 教員間の把握や意思統一はどうか。 ・ 今年度のベネッセ②は実施が早まり、対策が十分ではなかった。 ・ 英語の指導や英検の取り組みがよくできている。 ・ この学力把握は授業につながっているのか。 ・ ベネッセテストについて各教科で結果の分析を行うことが必要。 ・ 試験結果と面談を合わせて行っているのは有効である。	A 0% B 87.5% C 0% D 12.5%	・ 若い先生方が増えた。学力把握と手立てについて研修を行 いたい。 ・ 自分の目標に向かって英検への取り組みができている。 ・ 上の級を目指していく姿勢が良い。 ・ 他校比較ができる。KPIの意識は欠かせない。 ・ 高校に繋がる指導になっている。 ◇◇◇
	生きる力や総合力を はぐくむ活動の設定	① 学習・体験活動とその目標成果の整理・広報・ 見える化・発表等の総合力育成の場を設定 行事ごとの一斉指導 手立ての引き継ぎ ② 実行委員会を組織した委員会・生徒活動 実行委員会と委員会の系統・目標・活動の見える化 及び一斉指導 ③ 発達段階や興味を踏まえ、朝読書を奨励する。 読書ノートを導入、振り返りを促進【12冊/年】 成果のアウトプットと共有	① 行事後のレポート作成を継続的に指導した。プレゼン力のアップも 見られる。表現すること自体に前向きになり、他者への理解力向上 にもつながったと思う。個性と想像力がもっと出るとよいと思う。 ② 中学行事の際の活動が主であった。委員会によって差はあるが、 チームワークの体制は多少できたが、下級生の活躍がもっと 表に出てきてよいと思う。委員会活動をPRし、活動を振り返り、 共有する手立てを掲示等を通して工夫していく必要がある。 ③ 取り組みにまだ差があるが、ペースを掴み、読書を楽しむ生徒が 増えている。振り返りの情報の共有が足りないと思う。 読書ノートの取り組みは価値あるものだった。内容を職員間でさらに 共有していくと色々なアイディアが出てくるのではないと思う。	A 18.3% B 46.5% C 7.0% D 28.2%	・ E-ポートフォリオに繋がるような活動が始められたのは良い。 ・ 読書ノートの点検対応について一考を要すると思う。 ・ 朝読書が徹底できていない。 ・ 読書ノートは良い試み。将来にわたって大切な記録となる。 ・ 体験活動の意味をもっと理解し、他者に説明できる力がより必要。 ・ 専門委員会は高校と分けた方が良いと思う。 ・ 生徒同士のコミュニケーションを十分に取らせたい。 ・ 活動を掲示にまとめることにより、相互理解を深めたり、PRに 資することができた。 ・ 中学行事の実行委員会の取り組みについて全体を 盛り上げるため工夫や努力が必要。	A 0% B 75.0% C 12.5% D 12.5%	・ 部活で人間力を磨くことができると思うが、大学進学時の 選択で退部する希望がある場合は、生徒の希望を十分に 取り入れることが必要。 ・ 高校入学時、1～3年で部活の活動年数の希望制など 多様な取り組みを検討してみたい。 ・ 読書ノートにとどまらず、プレゼンする機会を増やした 方がよい。 ・ 校風形成に役立っている。

	<p>日本文化理解と国際教養養成 (総合学習)</p>	<p>① 日本文化理解行事実施【2回／年】 J1 自然体験・富士山学習・地域社会調べ・探訪 J2 寺社宿泊研修、企業探訪、地域・大都市探訪 J3 寺社・精神文化調べ、企業研修、地域・古都研修</p> <p>② 講演や交流会の実施・研究 J1 科学 J2 医療・企業 J3 医療・企業・郷土</p> <p>③ 英会話授業【週1回】とアウトプット実践 J1～J3</p> <p>④ 禅寺の活用</p> <p>⑤ 日本文化・国際教養講話／講演実施</p>	<p>① J1 4月御殿場宿泊研修、10月盲導犬の里富士ハーネス・富士山世界遺産センター J2 4月可睡齋宿泊研修、10月JICA・ジャパンマリンユナイテッド J3 4月ふじのくに地球環境史ミュージアム、10月関西修学旅行 発達段階に応じて興味や探求心の拡大と深化を図った。 郷土の枠を超えた探求心を成長させ、改めて郷土と自分自身について振り返らせるねらい。</p> <p>② J1～J3 6月ディスカバリーパーク科学講演 J2 10月江戸東京博物館・news park等 J3 4月静岡県地震防災センター 医療系の企画を再検討したい。興味関心を多角的に喚起。</p> <p>③ TT授業及びスピーチ指導によりコミュニケーション力・プレゼン力の向上を安定的計画的に図った。</p> <p>④ 4月にJ2可睡齋研修実施。学園スピリットの一端を実地研修した。動禅の精神とと学校生活を多少結び付けること大事だと感じている。</p> <p>⑤ MD講座として二回実施。6月天地父母、三大行幸啓11月A・Aの現在パラオ、1月欧米の現在 USA、インフルエンザ流行のため未実施 現代との関連、日本との関連を意識した講話とした。</p>	<p>A 26.8% B 47.9% C 0% D 25.4%</p>	<ul style="list-style-type: none"> 日本のことをもっと知り、理解し、自分の国の良さや改善を考えた事で成長につながると思う。 行事で様々な社会経験が出来ている。 事前事後指導が一過性ではなく、個人の記録として残せるようになっているとよいと思う。一貫したテーマのもと行いたい。 職業講話を取り入れよかった。 	<p>A 0% B 87.5% C 0% D 12.5%</p>	<ul style="list-style-type: none"> 充実した活動ができています。 国際人として日本文化の理解が必要と感じる。 修学旅行、研修などグローバルな体験ができる。
<p>II 徳育の充実</p>	<p>基本的生活習慣の確立</p>	<p>① 身だしなみと挨拶の指導 校風検査【1回／月】 校風委員による挨拶運動</p> <p>② TPOに合わせた所作・マナー・学習態度等を 発達段階をふまえて指導検証する 打合せ、定例中学部会(週・月)等にて 情報交換し一斉指導の手立てを共有する</p> <p>③ 私物貴重品管理・整理整頓・清掃指導の徹底</p> <p>④ 欠席・遅刻・早退の減少 基本的生活習慣の維持</p> <p>⑤ 基本的生活習慣近況について情報発信</p>	<p>① 4月の全体集会で生徒のロールプレイを示し、基本の理解を促した。 恒例の指導として継続。 月例校風検査は男女別、別担当で今年度も実施。</p> <p>② 日常のフォロー指導に若干バラつきが見られた。 学年間の指導差が生じないように注意したい。</p> <p>③ 概ね良好な状況が維持できた。1年生の意識も徐々に向上した。 体育の移動教室時の整理整頓に改善の余地がある。</p> <p>④ 全体的に欠席・遅刻は増えたが、限定的である。 温かく見守り、根気強く指導していきたい。</p>	<p>A 28.2% B 50.7% C 2.8% D 18.3%</p>	<ul style="list-style-type: none"> 明るい女子生徒が増えた感じる。挨拶をしてくれるようになった。 上級生になると遅刻が増えるのではないかな。 挨拶はやや強調する必要を感じる。自らの挨拶は少ない。 打合せ時の情報の共有について配慮してほしい。 全般的には良好ではないかと思えます。 	<p>A 0% B 87.5% C 0% D 12.5%</p>	<ul style="list-style-type: none"> 校風検査はきっちりやしてほしい。自然に挨拶できるように なるとういと思う。 上級生、高校生にロールモデルを見い出させたい。 明誠生は総じて挨拶がよい。 家庭生活が日常に現れる。生徒のちょっとした言動に 気を付け、コミュニケーションの充実を図ってほしい。 挨拶が年々悪くなっている。 ◇◇◇
	<p>特設道徳の充実と行動化</p>	<p>① 本校理念の浸透、一斉道徳講話実施 【複数回／年】</p> <p>② ボランティアの実施</p> <p>③ 自律性と社会性を培う場を設定し 実践力行動力向上を図る</p> <p>④ 交通マナーの指導と実践 交通安全教室実施 交通安全委員呼びかけ</p> <p>⑤ 道徳教科書ノートを年間計画で使用 学習の記録を振り返り、共有する</p> <p>⑥ 情報端末使用時の人権問題啓発指導 講演実施と集会等で啓発指導</p> <p>⑦ 「いじめ」皆無の指導 【調査3回／年】</p> <p>⑧ 成果や伸長について情報発信</p>	<p>① 学習指導要領の徳目に沿い、本校の方針を考慮し講話の題目とアプローチを検討した。全体道徳を校長講話の形で実施した。 ワークシートを予め準備し、次年度の道徳の授業の準備も兼ねた。 4月:自他の尊重・「先度他心」に関連づけて 10月:集団生活の向上・役割と責任・禅語「同時」に関連づけて 1月:目標と勇気、意志・禅語「八風吹けども動ぜず」に関連づけて</p> <p>② 4月J2スプリングキャンプ時に愛野公園にて清掃活動実施、 11月J1・J3 学校敷地周囲と藤枝駅南北口周辺の清掃活動実施。良好に取り組めた。</p> <p>③ 各集会や行事の運行を通して主体性と創意工夫する思考力を刺激した。 学園祭や専門委員会における行動につながっていると思う。</p> <p>④ 4月J3生主導の交通安全集会を実施し、敷地内や周辺の注意点について呼びかけを行い、意識高揚を図った。5月にマジオ自動車学校による交通安全教室を実施。恒例行事で有効だが、もう少しインパクトがあってもいい。</p> <p>⑤ 年間の計画的な学習とワークシートの活用が進んだ。そうした意味で道徳の教科化と評価の開始に少しずつ慣らしたことになる。授業の展開について考え、議論すること等工夫をしていくことになる。</p> <p>⑥ 7月NPOイーランチ、12月NTTより講師を招き、ネットワークやSNSの利便性や危険性について、動画を通して学んだ。</p> <p>⑦ コミュニケーションやチームワークが良く機能し、トラブルの未然防止や問題の芽を摘む指導が行われた。また、講師を年2回招聘しアサーショントレーニングやアンガーマネジメントを受けたことにより、人間関係の理解力や対応力を向上させ、生活全般の安心と自信を涵養した。</p>	<p>A 14.1% B 49.3% C 5.6% D 31.0%</p>	<ul style="list-style-type: none"> 外部から講師を招き、生きた話を聴かせる機会がほしい。 並列進行が多く、指導の仕方に改善が必用である。 教室がとてもよく整理されていると思う。 ヘルメットの着用指導について概ね順調ではないかと思う。 グループ活動をさらに活発にしていきたい。 KJQの取り組みを通して社会性についてよく考えるきっかけとなった。 アンガーマネジメントは新時代の教育であり、以前の青少年を抑制していた道徳のかわりになるものだろうと思う。 	<p>A 0% B 87.5% C 12.5% D 0%</p>	<ul style="list-style-type: none"> 一時停止と並列進行について注意。 いじめ等で自殺者が低年齢化しており、命の大切さについてよく伝えてほしい。 学校訪問時に学校の落ち着いた雰囲気を感じる。 徳育の充実を思う。 ヘルメットの着用指導が徹底されていてよい。 自転車の交通ルールは厳しくなったが、まだまだ「みんなでやれば怖くない精神」があるように思える。繰り返し指導してほしい。

	<p>個の尊重と主体性の醸成</p>	<p>① 情報交換で個の把握【月次・週 定例会実施】</p> <p>② 生活帳の熟読とコメント【隔月提出率確認】</p> <p>③ 個別指導には、養護・カウンセラー・生徒課等チームの活用</p> <p>④ 中学生生徒理解研修会【全職員で実施】</p> <p>⑤ KJQの実施と評価の活用</p> <p>⑥ 随時良い点や現れをフィードバック、全体で共有</p>	<p>① 情報交換と対応の精度が高まり、一層生徒指導のレベルが上がった。</p> <p>② 情報の共有がよく行われ、チームワークの保持につながった。提出率は95%前後で概ね安定している。</p> <p>③ 必要に応じて外部組織の知見を参考にして、生徒指導に対応した。</p> <p>④ 定型フォームに行動のあらわれを記入している。情報の整理と共有について工夫の余地がある。</p> <p>⑤ 情報や指導方法について共有し、職員同士の連携を高めた。ガイダンスや会議により活用方法の職員の習熟度も向上した。</p>	<p>A 19.7%</p> <p>B 50.7%</p> <p>C 4.2%</p> <p>D 25.4%</p>	<p>・生徒理解研修会によって、配慮・注意が必要な生徒を確認することに役立っている。</p> <p>・一人一人の理解、情報の共有が大切。</p> <p>・KJQによって個々の生徒の様子を多角的にみる事が可能になった。</p> <p>・生活ノートによって生徒の様子を伺え、重要な役割を果たしている。</p> <p>・担任と教科担当の連携を更に深めるべき。</p>	<p>A 0%</p> <p>B 87.5%</p> <p>C 0%</p> <p>D 12.5%</p>	<p>・スクールライフで情報共有することは欠かせない。</p> <p>・女子の増加に伴う情報の共有も進めたい。</p>
<p>III 健康な体の育成</p>	<p>団体行事の用意(団体行動や行事運営の基本も学習)</p>	<p>① スポーツデイ実施【参加率95%以上、2回/年】</p> <p>② 身心の持久力育成【耐寒持久走会参加率92%以上】</p> <p>③ 体育大会の活用【長縄跳び30回以上】【行進評価80%以上】</p> <p>④ 武道奨励 時数の確保(前期7・後期7) ねらいの理解と浸透</p> <p>⑤ 部活動奨励【参加率85%以上】</p> <p>⑥ ダンスデイ実施</p>	<p>① 3月はJ2がリーダーシップを発揮した。男女混成チームもあり、運営に柔軟性を要する。チームスピリットや下級生の挑戦心を涵養している。全体参加率：7月 97%、3月 n/a %(3/7時点)、基本的に良い。95%(3/16)</p> <p>② 栃山川周回コース2周継続。インフルエンザのため予備日(2/8)に延期して実施。事前指導期間より例年こつこつと取り組んでいる。全体出走率：90% 今年度もしっかりと完走できた。</p> <p>③ 集団(学級・学年・中学)としての目的意識作りと振り返りが必須と思われる。達成感の獲得や有用感の醸成を意識した取り組みにしたい。</p> <p>④ 耐寒持久走指導終了後主に武道対応に入るが、今年度も後退した。最低限の内容を明確にして取り組んでいく必要がある。</p> <p>⑤ チームスピリットやスクールカラーを涵養する好機として参加している。加入率：J11: 89%、J12: 97%、J21: 87%、J22: 97%、J31: 95% J32: 65% 全体: 88%</p> <p>⑥ 12月上旬定期テストの翌日実施。オープンキャンパス最終日(土)は避けた。見学者数はここ数年同様100名前後で推移し、減少なし。今年度は人数(参加チーム)が多く運行が心配されたが、体育館を単独で使用でき時間的な問題はなかった。演技の内容は比較的オーソドックスなものであった。多少工夫がほしいと思う。</p>	<p>A 26.8%</p> <p>B 53.5%</p> <p>C 1.4%</p> <p>D 18.3%</p>	<p>・全国大会に出場する部活もある。</p> <p>・学校行事を通して集団で出来ることの大切さ・集団のよさを考えてもらいたい。</p> <p>・もっと運動する機会を設けたい。</p> <p>・部活動は一見地味に見えるが比較的活発に取り組んでいると思う。</p> <p>・種目数や出場人数、競技方法について検討の余地がある。</p>	<p>A 12.5%</p> <p>B 75.0%</p> <p>C 0%</p> <p>D 12.5%</p>	<p>・一年ごとに生徒同士の絆が増しているを感じる。</p> <p>・女子の部活動について現状を知りたい。</p> <p style="text-align: center;">◇◇◇</p>
	<p>「保健だより」の活用</p>	<p>① 啓発内容の理解促進と発展的考察を図る</p>					
<p>IV 豊かな生活の追及</p>	<p>特別活動や課外活動の準備と充実</p>	<p>① キャリア教育の一斉の年間的取り組み【MD内に設定】</p> <p>② 青藍祭に、部・学年・学級で参加 実践力やボランティア精神を磨く場とする 展示物には価値観教育への成果を記す</p> <p>③ フィールドワーク【2回/年】、芸術鑑賞 自身の思考力や発想力に資する体験 学習を行う。事前事後指導の充実。</p> <p>④ 行事や活動のまとめと発表・展示 ねらいと学びを振り返り、次の行事(節目)に向け 展望させる。</p> <p>⑤ 学習集団の向上(行事・授業等活用) プレゼンや議論を活かし、コミュニケーション力や創意工夫する力、思考力を上げる。混成集団をつくり、他者への理解を深め、また、集団の力を自覚理解する。</p> <p>⑥ 各種団体の文芸コンテストに参加 想像力を発揮し、自他の理解を深め、お互いに 学び合う仲間であることを自覚する。</p> <p>⑦ 自分の長所・短所について行事ごとに振り返り、 自尊心や自己有用感に繋がるヒントを得る。</p>	<p>① 各学年行事における企業等の訪問に合わせて職業調べを行い、実地研修と振り返り・発表を行うことにより理解力と考察力の向上を図った。</p> <p>② 模擬店・アトラクション(J3)、展示(J2・J1)の活動パターンを踏襲した。会場の運営を当番制によって行った。特に模擬店の運営は総合的に学ぶことが多く、社会性の向上や人間性の陶冶に大きく役立ったと思う。振り返りに際しては一定のガイドに沿らせることが必須だと思う。</p> <p>③ 4月・10月の主要行事中の実地研修・検証にあたる。発達段階に応じた主題に応じて実施時期と学年行事を設けている。事前指導のガイダンスや事後指導の振り返りにおいてよく留意し、行事間や学年間のつながりをさらに深く意識させ、物事を洞察したり展望させたりしていきたい。</p> <p>④ 発表・展示の際、知識としての学びのコピーに終始する例も少なくない。どんなゴールに到着しようとするのか、事前指導時によく検討させたい。</p> <p>⑤ ワークシート活用の流れができてきた。ねらいと内容の面から学年ごとにバラバラにならないように注意し、まとめていきたい。自己有用感・自尊心や他者の理解力導き出す仕掛けを工夫していきたい。</p> <p>⑥ 参加するコンテストが徐々に定番化してきた。また入選作品もそれに応じて増加してきた。他者の作品を鑑賞する機会を設けることによって相互理解を促進することも一つの手だと思う。</p>	<p>A 28.2%</p> <p>B 45.1%</p> <p>C 1.4%</p> <p>D 25.4%</p>	<p>・掲示物から一人一人が青藍祭に心をこめて取り組み、喜びをもって振り返っていることが伝わってくる。きめ細かく指導されていると思う。</p> <p>・個人参加による顕彰者が出ている。個性を伸ばしている。</p> <p>・展示だけではなく、アトラクションなども行い、様々な思考力や行動力を1年次から養ってみたいのではないかな。</p> <p>・もっと参加する活動や機会を与えたい。</p>	<p>A 12.5%</p> <p>B 75.0%</p> <p>C 0%</p> <p>D 12.5%</p>	<p>・もう少し高校との連携があっても良いと思う。青藍祭も中学生と温度差を感じる。</p> <p>・青藍祭などで生徒同士協力しながら活動する姿は、エネルギーを感じることができる。生徒が生き生きとしている姿は頼もしい。</p>

V 家庭・地域との連携	対話の増加	<p>① 面談の奨励(希望面談も用意)【4回／年】</p> <p>② 保護者会等実施【複数回で参加率100%】</p> <p>③ 行事関係文書配布【2週間以上前】 子供の現れの連絡(けが・病気含む)</p> <p>④ 内進高校生の情報も含め生徒の良い点の発信 中学部だよりの活用</p>	<p>① 4月新年度個別面談①、7月夏休み三者面談、11月個別面談②、オープンキャンパス中希望面談、11月～2月個別面談による進級指導等実施。</p> <p>② 6月地区別懇談会(交通安全対策・夏の準備)、2月学級／学年懇談会(進級準備)。参加率についてはおおよそ達成。</p> <p>③ 各行事2週間前に通知を配布した。気になる事柄については教員間で対策 予め検討し、保護者とコミュニケーションをとるように試みた。</p> <p>④ 7月と3月(3/18予定)に全学年対象に進路講演会実施。基本や現状について丁寧に いて説明してもらい意識高揚に役立てた。 3/17追記、2名の卒業内進生にも講演してもらい、とても好評だった。 3月19日には卒業内進S3生徒にJ3生徒対象に講演してもらう予定である。 内進生として意識高揚に役立てた。</p>	<p>A 22.5%</p> <p>B 49.3%</p> <p>C 0%</p> <p>D 28.2%</p>	<p>・ 諸施策よくできていると思う。</p> <p>・ 面談を通し個人の問題点や学校への満足度を伺い知ることが できた。</p>	<p>A 12.5%</p> <p>B 75.0%</p> <p>C 0%</p> <p>D 12.5%</p>	<p>・ 内部生、卒業内部生の情報は生徒と同じ学生生活を過ごした人 の実体験情報なのでとても関心深く、また良い。</p> <p>・ 内部生が高校生になってからのクラス分けの説明がもっとほしい。</p> <p>・ 懇談会の参加率の向上を期待したい。また、保護者への 回答書の充実も求めたい。</p> <p>・ もう少し保護者会を活用してはどうか。</p>
	広報活動の充実	<p>① 中学部だよりの発行 学年通信の発行【6回以上／年】</p> <p>② 子供安全連絡網の活用</p> <p>③ オープンキャンパスでのアンケート実施 【参加率2回で100%】</p> <p>④ 行事や発表会の開放</p>	<p>① 発行回数は目標に及ばなかった。学校ニュースを写真と共に紹介した。 また、学校活動の目標と実際を紹介し、学校理解とPRを促した。</p> <p>② J2の学年閉鎖(インフルエンザ)に際して保護者への連絡手段として 活用した。あらためて有効な手立てだと思う。</p> <p>③ アンケート内の各意見に対し適切に対応した。 参加率は昨年度と比較して改善し、ほぼ目標を達成。</p> <p>④ 科学講座、キャリア講演、ダンスデイ、体験学習など学校見学に開放。 PR手段は、ちらし・掲示ポスター配布、DM、HPなどを活用した。 行事のひと月以上前から展開することが望ましい。</p>	<p>A 29.6%</p> <p>B 40.8%</p> <p>C 1.4%</p> <p>D 28.2%</p>	<p>・ 十分だと思う。</p> <p>・ 中学生であることを考慮して、行事などでは保護者に見てもら う機会を確保したい。</p> <p>・ 連絡網の活用の要望がある。</p>	<p>A 12.5%</p> <p>B 75.0%</p> <p>C 0%</p> <p>D 12.5%</p>	<p>・ 発行物の情報により学校の様子が分かりやすくなり、親子の 会話も進む。</p> <p>・ 年間行事予定も有用。</p>
VI 生徒募集	渉外活動の充実	<p>① 説明会や講習会・オープンテスト等実施</p> <p>② 小学校や塾への渉外活動</p> <p>③ 各種行事の活用 (文化祭等)</p> <p>④ リーフレット作成</p>	<p>① ・説明会 6/9 (40)世帯, 6/30 (54), 8/4 (75), 9/11 (54), 9/13(43) 11/17(89), 掛川・静岡実施せず, 前年比113%</p> <p>・講習会 9月 -55名, 11月 -50名 若干減少、特に各回の2日目</p> <p>・オープン①8月(84)、②9月(96)、③11月(95) 前年比117%</p> <p>講習会・オープンはDMとTELで、勧誘とバックアップを実施。リーフレットによる 事前申し込みも積極的に促進し、進捗を分析しながら補強活動を実施した</p> <p>・4・5年説明会 10月(26)、2月(75) 前年比134%</p> <p>・4・5年体験学習会 部活8月(26)、英語10月(43)、理科2月(90) 前年比106%</p> <p>・入試 一次 85 :単65 併20 二次 1 :1 前年比94% 男子単願が減少 今年度より募集定員70名に変更。73名+ 入学予定。</p> <p>② 小学校訪問約90校 5月(学園祭前)・7月(夏面談前)・2月(学習会前) の3回を基本としたが、入試日程の変更を周知するため12月にも訪問した。 志様・小笠・静岡地区の有名個人塾を訪問。学校案内・入試行事リー フレット・学園祭／体験学習案内・通学バス案内・通学費補助案内等配布。</p> <p>③ 学園祭や定期演奏会に合わせて学校訪問し、ポスター・リーフを配布しつつ PRした。また、名簿を活用し同時期にDMも送付し相乗効果を狙った。 4・5年対象の10月英語/2月理科体験学習会については、ひと月前より訪問 活動を開始し、またDMを送付。実施2週間前にはPRを概ね済ませていた。 学校への好感度・期待値は良好だった。</p> <p>④ 入試行事年間予定リーフレットに加え、各種リーフ(講習会・オープンテスト・ 体験学習会・通学補助支給)をひと月以上前から送付配布した。 A3版体験学習会用自家製ポスターを校外で掲示推進した。体験学習会 用の媒体なら公立機関に掲示が可能。</p>	<p>A 40.8%</p> <p>B 38.0%</p> <p>C 2.8%</p> <p>D 18.3%</p>	<p>・ 高等部の渉外活動と合わせて、更に運動していけるとよい。</p> <p>・ 行事が多すぎるのでは。機会の精選ができないか。</p> <p>・ いろいろ充実し、多くの参加者を集めることができた。</p> <p>・ 諸行事十分に取り組んでいると思う。</p> <p>・ 小学生に興味を持ってもらう機会が多い。</p> <p>・ 中高間の情報共有をもっとしてほしい。</p> <p>・ 説明会・オープンテストを通し、本校学習レベルを知ってもらう機会を つくれた。</p> <p>・ お互いのことがわかる機会であり、有意義である。</p>	<p>A 75.0%</p> <p>B 12.5%</p> <p>C 0%</p> <p>D 12.5%</p>	<p>・ よく取り組まれていることがわかる。</p> <p>・ 様々な活動や環境に感謝したい。</p> <p>・ 充実した活動だと思う。</p> <p>・ 保護者、子どもと情報共有できている。</p> <p style="text-align: right;">◇◇◇</p>
VII 教育施設・設備の活用	快適な教育環境の実現	<p>① 教室内外整理整頓、施設管理、 電源管理の徹底、目的の理解 【放課後巡回 複数回／日】</p> <p>② 駐輪場管理【朝巡回／日】</p> <p>③ 設備・備品の保全【放課後巡回 複数回／日】</p> <p>④ 防災教育と訓練の実施【2回／年】</p>	<p>① 4月全体指導実施。集会にて、ロッカー・駐輪場等使い方を実演した。 概ね例年通り一定の成果を確保したが、J1に若干バラつきが残る。 施設や電源管理については、SHR・放課後巡回時に注意啓発指導実施。 放課後担任適宜及び複数回巡回した。記録を継続している。</p> <p>② 朝登校時副担任が輪番で巡回し、施設確認・駐輪方法・整備状況など について確認指導した。概ね状況は良いが、はみ出し駐輪が少しある。</p> <p>③ HR・集会時啓発指導を行い、また、放課後巡回時適宜啓発注意とチェック を行った。教室内の壁や電気スイッチの破損が若干発生した。</p> <p>④ 4月全校避難訓練実施。迅速にグラウンド整列点呼報告完了(約9分)。 9月全校校長防災講話実施、教室内避難訓練及びワークシート学習 に取り組んだ。</p>	<p>A 23.9%</p> <p>B 47.9%</p> <p>C 5.6%</p> <p>D 22.5%</p>	<p>・ 交通マナーの徹底は良くできている。</p> <p>・ いつもきれいになっている。</p> <p>・ 避難訓練などもう少しやった方がよいのではないか。</p> <p>・ 駐輪場の改善がよかった。スペースも広がった。</p> <p>・ 指導を毎日積み重ねていることがよい。</p> <p>・ 駐輪の仕方について、上級生にもっと丁寧に駐輪してほしい。</p>	<p>A 0%</p> <p>B 75.0%</p> <p>C 12.5%</p> <p>D 12.5%</p>	<p>・ よく活動が行われており、感謝したい。</p> <p>・ トイレの改善を期待したい。</p> <p>・ 喫煙エリアの遵守を徹底してほしい。</p>